

高松市地域包括支援センター香川

令和7年度第1回高松市高齢者 保健福祉・介護保険制度運営 協議会（R7.5.28）	資料3-2
---	-------

1 令和6年度 重点目標の評価について

①事業の概要

項 目	内 容
実施場所	高松市地域包括支援センター香川（香川総合センター 2 階）
履行期間	令和5年4月1日から令和7年3月31日まで
担当地区	塩江、香川、香南
受託法人	社会福祉法人 はつき会
業務内容	地域包括支援センターの運営 (事業実施計画書、研修計画書等に基づき、業務運営を実施)
人員体制	8人【内訳】センター長1人(主任介護支援専門員)、保健師2人、 主任介護支援専門員1人、社会福祉士2人、 介護支援専門員1人、事務1人

②重点目標（令和6年度モデル事業:第2期）

重点目標	目 標		主な取組内容	評価指標
効果的な更なる地域包括ネットワークの強化	(1)	関係機関との連携による包括的なネットワークを構築する。	● 地域包括支援センター香川の認知度向上に向けた取組の実施（X（旧Twitter）による情報発信、エリアパンフレットの発行）。 ● 地元で開催する関係機関の会議への出席等により、地域の声を聴くことにより、地域の実情に応じた連携を深める。 ● 地域の多職種の参加による会議(地域ケア小会議)等に参画し、個別課題から地域の課題を把握するとともに、その課題解決に向けた取組みを行う。	①X（旧Twitter）フォロワー数 100人 ②エリアパンフレットの配布数 500部 ③関係機関等主催による会議の出席回数 110回 ④包括香川主催の会議開催回数 7回 ⑤会議以外で連携（訪問、情報共有等）を行った関係機関 25か所
	(2)	地域の介護支援専門員や、医療・福祉等の関係機関との連携により、個別ケースに対する支援を充実する。	● 複合的、緊急的な問題を抱える個別ケースに対し、多職種・多機関で協力し、支援を行う。 ● 地域の介護支援専門員からの個別相談やケース対応、地域ケア小会議等により、連携強化、支援の資質向上を図る。 ● 関係機関等と連携を強化し、高齢者やその家族が抱える心身の状況に合わせた支援を行う。 ● 認知症本人・家族支援をする場の充実を図っていく。	①介護支援専門員からの相談件数 80件 ②介護支援専門員との同行訪問数 10回 ケース対応件数 55件 ③関係機関との連携回数 70回 ④認知症地域支援推進員の相談延件数 130件 ⑤認知症カフェでの家族のつどいの開催 年4回

目標（１）関係機関との連携による包括的なネットワークを構築する。

【結果】

評価指標	目標	令和６年度実績
①X（旧Twitter）フォロワー数	１００人	５５人
②エリアパンフレットの配布数	５００部	７７０部
③関係機関等主催による会議の出席回数	１１０回	１０８回
④包括香川主催の会議開催回数	７回	８回
⑤会議以外で連携（訪問、情報共有等）を行った関係機関	２５カ所	４１カ所

【評価・課題】

- ・圏域内の病院等にエリアパンフレットの配布、関係機関への訪問や会議等を通して、ネットワークの構築に取り組んだ結果、虐待や成年後見制度など権利擁護業務の相談件数が、昨年度と比べて２５人増えた。

➡今後は高齢者の権利擁護についての周知啓発に注力しつつ、関係機関と更なる連携を図り、地域課題の把握・共有・解決に向けた取り組みに発展させていく必要がある。

- ・タイムリーな内容を投稿したいが、組織内承認を経たからの投稿になるため、投稿内容が現在起きている事と差異が見られたことが考えられる。

➡今後も、地域住民が問題が重症化する前に早めに相談等の行動ができるよう継続しながら、包括に多く寄せられる相談を反映した内容、身近な地域の情報についても投稿する必要がある。

目標（２）地域の介護支援専門員や、医療・福祉等の関係機関との連携により、個別ケースに対する支援を充実する。

【結果】

評価指標	目標	令和6年度実績
①介護支援専門員からの相談件数	80件	95件
②介護支援専門員との同行訪問数、ケース対応件数	訪問数：10回 対応件数：55件	訪問数：16回 対応件数：103件
③関係機関との連携回数	連携回数：70回	連携回数：113回
④認知症支援推進員の相談延件数	130件	140件
⑤認知症カフェでの家族のつどいの開催	年4回	年4回

【評価・課題】

- ・ 評価指標は全て目標を達成し、昨年度よりもケアマネジャーと連携が図れるようになった。
- ・ しかし、連携の中で、ケアマネジャーが支援困難と感じているケースの多くに認知症が関連しており、地域住民の理解や本人、家族の支援体制の充実が必要なケースもあった。

➡ 今後は**認知症についての周知啓発やチームオレンジ等の支援体制充実**に取り組む必要がある。

評価・課題のまとめ

- 「権利擁護」及び「認知症」に関する周知啓発や、支援体制の整備に取り組む必要がある。
- 効果的な地域包括ネットワークの強化に向けた取り組みを、さらに推進していく必要がある。

2 令和7年度 重点目標について

①事業の概要

項 目	内 容
実施場所	高松市地域包括支援センター香川（香川総合センター2階）
履行期間	令和7年4月1日から令和12年3月31日まで
担当地区	塩江、香川、香南
受託法人	社会福祉法人 はつき会
業務内容	地域包括支援センターの運営 (事業実施計画書、研修計画書等に基づき、業務運営を実施)
人員体制	8人【内訳】センター長1人(主任介護支援専門員)、保健師3人、 主任介護支援専門員1人、社会福祉士2人、事務1人

②重点目標（令和7年度）

重点目標	目 標		主な取組内容	評価指標	目標	現状 (直近値)
効果的な更なる地域包括ネットワークの強化	(1)	ネットワークを活用して、関係機関と地域づくりに向けた取組を実施する。	● 地域の実態把握・共有の一環として、老人介護支援センターと、地域包括支援センター職員が、担当地区の地域カルテを共有する。 ● 地域カルテに基づいて、香南地区のチームオレンジ登録・活動支援、香川地区の認知症カフェの運営支援、塩江地区の独居高齢者把握支援などを実施する。	① 地域カルテに基づいた取組を実施した地区数	3地区	0地区
	(2)	認知症について正しい知識を理解し、チームオレンジ等の活動に取り組む人が増える。	● 認知症の本人や家族等に向けて、早期の相談対応や利用できる制度の周知など、支援を丁寧に行う。 ● 一人でも多く認知症について我が事として理解してもらうために、認知症サポーター養成講座等を開催する。 ● チームオレンジの登録・活動支援を行う。	① 認知症に関する相談で医療等に結びついた件数	20件	13件
				② 把握したが支援に繋がっていない方の定期訪問回数	20回	15回
				③ 認知症サポーター養成講座等講者数	120人	120人
				④ チームオレンジの登録数	2地区	0地区

②重点目標（令和7年度）

重点目標	目 標		主な取組内容	評価指標	目標	現状 (直近値)
効果的な更なる地域包括ネットワークの強化	(3)	意思決定支援をはじめとした権利擁護について相談機関を知る人が増える。	● 高齢者虐待早期発見や消費者被害防止を含む権利擁護業務推進のため、相談窓口の周知を図り、関連機関と適切に連携を図る。 ● ケーススタディやOJT、研修参加などで、職員のスキルアップに努める。	①民生委員会等の住民が集う場で権利擁護について情報提供した回数	20回	7回
				②SNSで権利擁護について情報発信した回数	15回	10回
				③専門職が権利擁護に関する研修に参加した回数	5回	3回
				④権利擁護に関する相談件数	75件	70件